ポイレート

ポイ活シミュレーターの計算基準書

区分・案件の選び方・条件が重い案件の扱い・注意書き

版：v1.0

制定日：2026年11月14日

発行：ポイレート編集部

この基準書は、ポイレート（https://poirate.com/）の「コンテンツ制作・運営ポリシー」から参照されています。還元額は各ポイントサイトの公開ページを確認した時点のもので、獲得を保証するものではありません。

1. この基準書について

「ポイ活シミュレーター」が、選ばれた条件から合計額をどのように計算するかの基準です。案件の最高額の決め方は「還元額比較の集計基準書」に書いています。実際のしくみと一致する決まりだけを書いています。

2. 区分

やることを、次の区分に分けています。各区分で、やる数を選びます。

- クレジットカードを作る 対象のジャンル：クレジットカード（選べる数：0・1・2・3枚、初期値：1枚）
- 証券口座を開く 対象のジャンル：証券口座（選べる数：0・1・2口座、初期値：0口座）
- 銀行口座を開く 対象のジャンル：銀行口座（選べる数：0・1・2口座、初期値：0口座）
- ゲームアプリをやる 対象のジャンル：ゲーム・アプリ（選べる数：0・1・3・5本、初期値：1本）
- 回線・電気を乗り換える 対象のジャンル：通信・回線・電気・ガス（選べる数：0・1件、初期値：0件）
- 動画・音楽のお試し登録 対象のジャンル：動画・音楽（選べる数：0・1・2件、初期値：0件）
- FXの取引 対象のジャンル：FX（初期設定では含まない）
- 不動産投資の面談 対象のジャンル：不動産投資の面談（初期設定では含まない）
- 暗号資産 対象のジャンル：暗号資産（初期設定では含まない）

3. 案件の選び方

各区分の対象のジャンルから、シリーズをまとめた定額の案件を、最高額の高い順に15件ずつ候補にします。対象のジャンルが複数ある区分は、候補を合わせたうえで、もう一度最高額の高い順に並べます。

そのうえで、区分ごとに次の条件で案件を選びます。

- 定額（円）の案件だけを選びます。割合（%）の案件、最高額が0円以下の案件は選びません。
- 確認から48時間以内の案件だけを選びます。
- 最高額の高い順に、選ばれた数だけ取ります。同じ額のときは、候補の並び順のとおりです。
- 条件に合う案件が足りないときは、ある分だけで計算し、画面に件数が足りなかったことを書きます。

4. 同じシリーズを重ねない

同じシリーズ（金額・回数・コースだけが違う案件）の案件は、1つの区分の中で重ねて数えません。同じシリーズの中では、最高額の高い案件1件だけを取ります。

5. 条件が重い案件の扱い

条件が重い区分（FXの取引、不動産投資の面談、暗号資産）は、初期設定では計算に入れません。「条件が重い案件も入れる」を選んだときだけ、それぞれ1件ずつ足します。

6. 合計の出し方

合計は、選んだ案件の最高額を足した金額です。区分ごとの小計も、同じ方法で出します。

ここでの最高額は、その案件を掲載しているポイントサイトのうち、最も高い額です。1つの案件を複数のポイントサイトで重ねて受け取ることは想定していません。

7. 注意書き

画面にも次の趣旨の注意書きを載せています。

- 合計は、各案件の条件（初回の利用だけ、審査、入金、達成の期限など）をすべて満たした場合の額です。実際に受け取れる額を約束するものではありません。
- 各ポイントサイトが公開している額を確認した時点のもので、時点は画面に書いています。
- 申込の前に、必ず各ポイントサイトで額と条件を確認してください。

入力した内容は、結果のURLに含まれるだけで、ポイレートの側で個別に保存する機能はありません。

8. 改訂

v1.0（2026年11月14日） 制定。